

3日 金曜

箴言

11:1 欺きの秤は【主】に忌み嫌われ、正しい重りは主に喜ばれる。
11:2 高ぶりが来れば、辱めも来る。知恵はへりくだる者とともにある。
11:3 直ぐな人の誠実は、その人を導き、裏切り者のよこしまは、その人を破滅させる。
11:4 財産は御怒りの日には役に立たない。義のわざは人を死から救い出す。
11:5 誠実な人の義なるわざは、その人の道を平らにし、悪しき者は、自分の悪事によって倒れる。
11:6 直ぐな人は、その正しさによって救い出され、裏切り者は、自分の欲によって捕らえられる。
11:7 悪者が死ぬとき、その望みは消え失せ、財力への期待も消え失せる。
11:8 正しい人は苦しみから救い出され、彼に代わって悪しき者がそれに陥る。
11:9 神を敬わない者は、その口によって友を滅ぼし、正しい人は、知識によって助け出される。
11:10 町は、正しい人の繁栄に小躍りし、悪しき者が滅びると、喜びの声をあげる。
11:11 直ぐな人の祝福によって、町は高く上げられ、悪しき者の口によって、破壊される。
11:12 隣人を蔑む者は良識がない。英知のある者は沈黙を守る。
11:13 人を中傷して回る者は秘密を漏らす、霊が忠実な人は事を秘める。
11:14 指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る。
11:15 他人の保証人になると苦しみにあう。保証を嫌う者は安全だ。



欺きのはかり、高ぶり、裏切り者などはみな、自分中心から来ています。自分のことしか考えているのだから、自分にとって得になることを求めているはず。しかしその結果は、「主に忌みきらわれ」て「恥」であり、「破滅」です。目の前の小賢しい浅知恵に走らないように、主のみこころをいつも考えるようにしましょう。

「潔白な人」や「直ぐな人」は、自分の正しい行いに確信を持ちましょう。主は生きておられます。誤解されても主のさばきや解決に委ねることが得策です。

7節からは、悪者と周囲との関係が述べられています。人間とコミュニティーとの関係問題を抱えていたら、このみことばを思いなが祈ってみると良いでしょう。

12節からは人間生活の具体的な訓戒が書かれています。自分に関係しているところはないか、祈りつつ考える必要がありそうです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

